様式３（2020.08改）

作成日　令和2年12月16日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371601184
事業所名	グループホームあすか

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	コロナ禍以前は、ボランティアの受け入れ、地域行事への参加を積極的に行っていたが、現在は自粛している。 地区の避難訓練では、いきいき支援センター（地域包括支援センター）からの誘いで、認知症の理解を広める活動を行った。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	利用者家族の参加もあり、会議をきっかけに家族同士の交流も広がっている。 現在は、書面開催となっている。事前に資料を送付し、事業所への質問事項を出してもらい、それに回答するという形式で行っている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	法人本部が主となって市との連携を図っているが、ホーム内で生じた疑問等は気軽に相談できる関係を築いている。 区の生活保護担当者とは、連絡を取りながら支援にあたっている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	現在は面会制限を行っているため、窓越し面会時や電話等で意見を聞いている。 ホームへの要望等を伝えてくれる家族は多く、「コロナ対策を取りながらの外出」等の意見が出されている。 運営推進会議への出席が縁で、家族同士の交流も生まれている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

備考欄】

市の方針に沿って、現在は書面開催となっている。
事前に資料を送付し、事業所への質問事項を出してもらい、それに回答するという形式で行っている。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○										